

令和4年度の佐賀県高校校長（嬉野高校）のことも、このところ大きな行事も、田信部長（嬉野高校）のことも、このところ大きな行事も、ひとえに佐賀県高体連柔道部の先生方をはじめ、佐賀と深く感謝申しあげます。

さて、昨年度（10月）から今年度（8月）を振り返り、10月に開催した佐賀県高校新人柔道大会では、男子団体は龍谷高と佐賀北が決勝戦を戦い、1-1の内容で龍谷高が優勝、女子団体は佐賀商と小城高が決勝戦を戦い3-0で佐賀商が優勝を果たした。特に男子は、決勝戦に進出した2校と3位の佐賀商、佐賀工の2校は、力が拮抗していた。

11月に大分県で開催された九州高等学校新人柔道大会では、男子団体では、佐賀北が3位、佐賀工が5位に、女子団体では、佐賀商が3位に入賞した。男子個人では、81kg級の吉井選手（佐賀北）が優勝、同81kg級の石松選手（龍谷高）、66kg級の大坪選手が2位、73kg級田中選手（佐賀商）、100kg級の空閑選手（佐賀工）が3位、女子個人では、57kg級の永松選手（佐賀商）が優勝、63kg級の水間選手（佐賀商）、78kg級の宮田選手（北陵高）が2位と、多数の選手が入賞し、健闘した。

翌年1月に行われた全国高校柔道選手権佐賀県大会では、男子団体は、佐賀商と佐賀工が決勝戦を戦い、3-0で佐賀商が優勝、女子団体は佐賀商と小城高が決勝戦を戦い3-0で佐賀商が優勝を果たした。男子個人では、久保選手（佐賀北）、大坪選手（佐賀工）、田中選手（佐賀商）、岡島選手（佐賀商）、荒巻選手（龍谷高）、女子個人では、近藤選手（佐賀商）、江口選手（小城高）、永松選手（佐賀商）、水間選手（佐賀商）、森選手（佐賀商）、中野選手（佐賀商）が全国大会の切符を得た。

3月の全国高校柔道選手権大会では、女子団体で、佐賀商が初の全国制覇を成し遂げた。男子個人73kg級の田中選手（佐賀商）が見事に優勝、66kg級の岡島（佐賀商）が3位、81kg級の岡島（佐賀商）が5位、女子個人、48kg級の近藤選手（佐賀商）、無差別級の中野選手（佐賀商）が3位、同無差別級の森選手（佐賀商）が5位と見事な成績を収めた。

令和4年度の佐賀県高校総体では、男子団体は、田

中選手、岡島選手を中心とした佐賀商、吉井選手、中山選手を中心とした佐賀北、大坪選手・小峰選手を中心とした佐賀工、石松選手、大家選手を中心とした龍谷高の四つ巴の男子決勝リーグ戦は、佐賀商が3勝で優勝を果たした。また、龍谷高、佐賀北、佐賀工が1勝2敗で並び、一本勝ち数の差で佐賀北が2位、佐賀工が3位となった。一方、女子団体は、女子決勝リーグ戦（第3試合）は、佐賀商が3勝で優勝を果たした。

6月に熊本県で開催された全九州高校総体では、男子団体で佐賀商が3位、女子団体で佐賀商が初優勝を成し遂げた。男子個人では、66kg級の太田選手（佐賀工）、清瀬選手（佐賀商）、81kg級の吉井選手（佐賀北）、90kg級の相良選手（佐賀工）が3位、女子個人では、63kg級の水間選手（佐賀商）、78kg級中野選手（佐賀商）、78kg超級の井上選手（佐賀商）が優勝、48kg級の近藤選手（佐賀商）が2位、52kg級の宇井選手（佐賀商）、78kg超級の川頭選手（佐賀工）が3位と今大会でも多くの選手が健闘してくれた。

8月に愛媛県松山市で開催された全国高校総体では、男子個人では、66kg級の太田選手（佐賀工）が、5位に入賞した。女子個人では、48kg級の近藤選手（佐賀商）が圧倒的な力を発揮し、見事2連覇を達成した。63kg級の水間選手（佐賀商）も優勝を勝ち取った。78kg級の中野選手（佐賀商）、78kg超級の井上選手（佐賀商）が2位、52kg級の宇井選手（佐賀商）、70kg級の田中選手（佐賀商）が3位と見事な成績を収めました。今年度も女子の活躍が目立った大会だった。この活躍は、改めて県内の選手や指導者に大きな自信と勇気を与えてくれました。

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、県外遠征や一般選手との合同練習、強化練習会、錬成会等を実施し、佐賀県で開催される国民スポーツ大会で活躍できる選手の育成に力を注いでいきたいと考えています。

また事故ゼロを目標にした安全指導の徹底や選手はもちろんだが、指導者や保護者へのマナー向上も図ってききました。今後もさらに佐賀県柔道協会・中体連・少年団と連携し、一致団結して佐賀県柔道の発展と普及に取り組んでいきたいと考えています。